

" 音楽の喜び / オペラや歌曲と共に "

村松恒矢 天羽明恵 村上寿昭

baritone

soprano

piano

※通常の半分以下、12名限定にて入場制限を行っています。
※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2020 07月11日(土)

開場 13:00 afternoon live

開演 13:30

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC=3500円 + 2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



村松恒矢

国立音楽大学卒業、卒業時に矢田部賞受賞。同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。平成30年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修生としてイタリア、ローマにて研鑽を積む。2017年に歌劇『ミスター・シンデレラ』垣内教授役で日本オペラ協会公演出演。また2016/2017年と田尾下哲カンパニー公演『セヴィリアの理髪師の結婚』のタイトルロールを務め、豊かな演技力で好評を得る。これまでに『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『魔笛』パパゲーノ、『愛の妙薬』バルコーレ、『ラ・ボエーム』ショナール、『電話』ベン、『てかがみ』杉本監督役など多数オペラに出演し、他にもフォーレ『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』等の宗教曲ソリストとしても活躍している。藤原歌劇団団員、日本オペラ協会会員。



天羽明恵

1993年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてシュトゥットガルト音楽大学に留学。95年第6回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。同年7月、新人の登竜門として知られるラインスペルク音楽祭で、《ナクソスのアリアドネ》のツェルビネッタをクリスティアン・ティーレマンの指揮で歌い欧州デビュー、続いて8月に、ソニア・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクールに優勝して、一躍注目を集めることとなった。その後、ドイツを拠点として、ザクセン州立歌劇場(ゼンパー・オーバー)、ベルリン・コーミッシェ・オーバーなど、ヨーロッパ各地の歌劇場や音楽祭のオペラなど数多く出演。日本では、新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなどへ定期的に登場し、日本の主要なオーケストラの定期公演にもソリストとして出演している。サントリーホール・オペリアカデミーのコーチング・ファカルティとして若手の指導にも力を入れている。1999年度アリオン賞、2003年第14回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。ロッシーニ協会運営委員。



村上寿昭

東京生まれ。ピアノを塩野圭子氏に師事。桐朋学園大学にて指揮を小澤征爾、黒岩英臣、秋山和慶の各氏に師事。大学在学中から、新日本フィルハーモニー交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラにて、その後も水戸室内管弦楽団、ウィーン国立歌劇場で小澤征爾氏のアシスタントを務める。1997年渡独。ベルリン国立芸術大学でマティアス・フスマン教授に師事。また2000年からは文化庁海外研修者として、またロームミュージックファンデーションの助成を受けウィーンへ留学。ウィーン国立音楽大学でレオポルト・ハーガー教授、湯浅勇治氏に師事。2004年から2006年までオーストリア・リンツ州立歌劇場に在籍、2006年からドイツ・ハノーファー州立歌劇場に転じ、2008年から2012年まではカベルマイスターとして数多くのオペラ、バレエを指揮。新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティー・フィル、大阪交響楽団、京都市交響楽団、京都フィル、岡山フィルなどを指揮。2016年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIVにて「こうもり」を、翌年は「カルメン」を指揮(小澤征爾氏と振り分け)。2016年セイズ・オザワ松本フェスティバルにてGigコンサートを指揮。